

東京ガスグループの取り組みについて

あなたとずっと、今日よりもっと。



2016年10月6日（木）
東京ガス株式会社

- 東京ガスグループは、「チャレンジ2020ビジョン」の実現に向けたステップ期間（2015～2017年度）の主要施策である、「総合エネルギー事業の進化」「グローバル展開の加速」「新たなグループフォーメーションの構築」の取り組みを進めています。
- 「総合エネルギー事業の進化」に向け、エネルギー事業として、都市ガス事業に加え、電力事業やLPG販売を中心としたリキッドガス事業を拡大するとともに、エンジニアリングサービス、暮らしサービスや地域開発サービス等、各種サービスを事業として育成することにより、お客さまへご提供する付加価値を拡大するための取り組みを加速しています。
- 2016年は、電力小売全面自由化がスタートし、多くの新規事業者が電力小売に参入するなど、エネルギー業界にとっては大きな節目の年でした。そうした中、当社グループは「新電力No.1」を目指し積極果敢に取り組み、大きな一歩を踏み出すことができました。2017年は自由化元年での知見や経験を活かし、さらに高い目標に向けてチャレンジするとともに、電力事業を着実に軌道に乗せるべく、総合的な検討とその諸条件の整備にも努めていきます。
- 一方、2017年4月から始まるガス小売全面自由化に向けては、制度改革の趣旨に沿い、スムーズな移行、立ち上げに注力していきます。また、ご愛顧いただいているお客さまには、改めて原点、基本に立ち返り、サービスの向上と保安の確保にグループを挙げて全力で取り組んでいきます。
- 海外事業については、引き続き東南アジアと北米を中心に、さらなる体制強化、人材育成を図りつつ、優良案件の発掘、精査、アライアンス企業との協力等により着実な成果に結びつけていきます。

1. グループフォーメーションの確立・実行
2. 電力事業の拡大
3. ガス事業の深耕
4. 海外事業の強化
5. 各種事業への取り組み

1. グループフォーメーションの確立・実行

<事業ドメインの確立>

- 「総合エネルギー事業の進化」に向け、事業ドメインを明確にし、グループフォーメーションを確立していきます。当社グループの主力である都市ガス事業に加え、お客さまにより豊かで潤いのある暮らしをご提供する事業の展開を目指します。
- 都市ガス事業、電力事業、リキッドガス事業をエネルギー事業と位置づけ、お客さまにお届けする付加価値を拡大していくため、エンジニアリングサービス、暮らしサービス、地域開発サービスを事業として育成していきます。また、国内で培ったノウハウを、海外事業へ展開していきます。

総合エネルギー事業の進化

グローバル展開の加速

●都市ガス事業

LNG調達・輸送、
都市ガスの製造・供給、
販売

エネルギー事業

●電力事業

発電、電力の供給、
販売

●リキッドガス事業

LPG販売、産業ガス製
造・販売等の液化ガ
ス事業

エネルギーに関する付加価値事業

●エンジニアリング サービス

エネルギーサービス等、
エネルギー関連を中心と
した総合エンジニアリング

●暮らしサービス

暮らしを豊かにする
エネルギー企業とし
ての価値提案

●地域開発サービス

不動産の活用・管理、
地域密着のエネルギー
提案やまちづくりへの
貢献

●海外事業

ガス田の権益取得、
LNGプロジェクトへの参画、
海外における
ガス供給、
天然ガス火力発電への参画、
エンジニアリングの提供、
エネルギーサービスの提供
等

1. グループフォーメーションの確立・実行

<グループ経営・ガバナンスの確立・実行>

- 総合エネルギー事業、海外事業を推進するグループ経営・ガバナンスを2016年度中に確立し、2017年4月から実行します。

環境変化

エネルギーシステム改革の進展

少子高齢化の進展

経営戦略

総合エネルギー事業の進化

グローバル展開の加速

<経営戦略を推進する、グループ体制・ガバナンスの仕組みを確立>

認識すべき
変化

単一事業から
複数事業へ

規制事業から
競争事業へ

首都圏中心から
グローバル展開へ

東京ガス中心から
東京ガスと関係会社
一体の体制へ

グループ
体制

ガス事業を担う東京ガスグループの
イノベート・効率化

ガス以外の事業を担う関係会社の強化
(新設、再編・統合)

ガバナンス
の仕組み

事業の取捨選択や
経営資源配分を
適切に判断する
事業運営

需給・価格リスクや
海外市場
特有のリスクの
適切な管理

多様な能力・キャリア
を持つ集団、
グローバル人材を
育成する
人事の仕組み

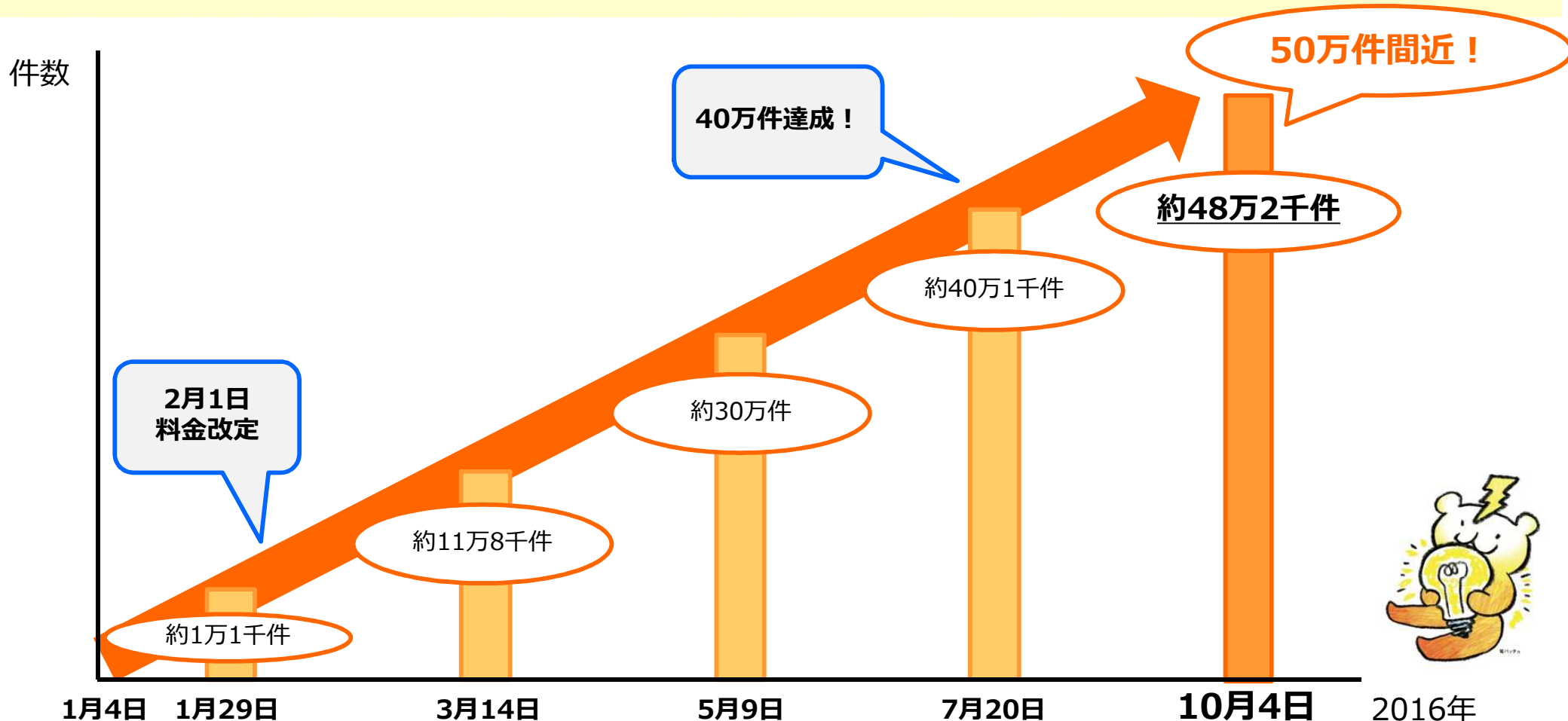
事業を担う関係会社の
自立的成長を
後押しする
関係会社制度

2016年度中に関係する組織・体制、規則・制度の見直しを実施

2. 電力事業の拡大

<低圧のお客さまへの電力販売>

- 2016年4月の電力小売全面自由化後、現在までに約48万2千件のお客さまに東京ガスの電力をご契約いただきました（10月4日時点）。
- 低料金やポイント特典等による「お得」のほか、生活まわりのトラブルに対応した“生活まわり駆けつけサービス”による「安心」等、付加価値サービスにも評価をいただいています。



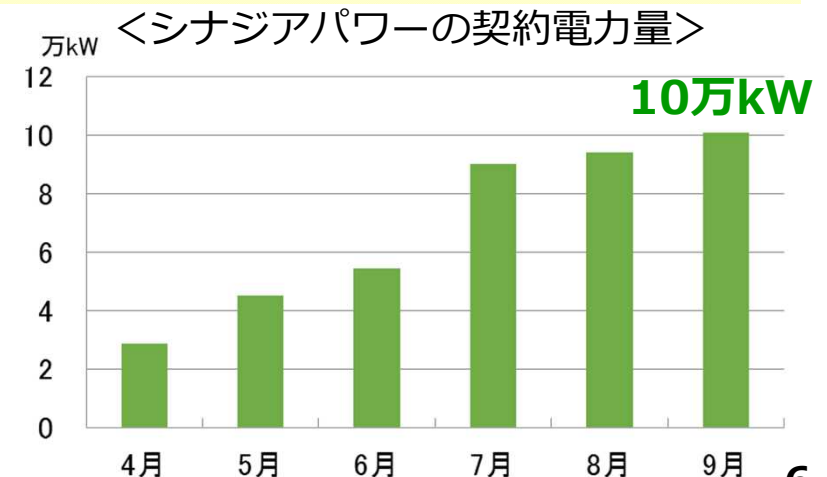
2. 電力事業の拡大

<卸先ガス事業者と連携した電力販売>

- 卸先ガス事業者との低圧電力の販売に関する**業務提携により、首都圏における電力販売を拡大**しています。
- 卸先ガス事業者等の都市ガス事業者21社、LPガス販売事業者27社と低圧電力の販売に関する業務提携を行い、提携先への電力切り替えのお申し込み件数は約1万2千件（10月4日時点）となりました。
- 卸先ガス事業者とは、電力販売のみならず、今後も「ガス・ネットワーク・コンソーシアム21（略称：ガスネット21）」の活動を通じて、様々な課題の共有・検討を行うことにより連携を深め、お客さまの幅広いニーズにお応えしていきます。

<高圧・特別高圧のお客さまへの電力販売>

- 高圧・特別高圧のお客さまへも、幅広いニーズにお応えするため、**株式会社エネットおよび株式会社シナジアパワーを通じて、電力販売を拡大**しています。
- 2000年7月に設立した株式会社エネットは、大口分野の電力販売において新電力No.1の実績を有しています。
- また、2016年4月から北関東を中心とするエリアの大口分野の電力販売を開始した株式会社シナジアパワーは、10万kW（9月末時点）の電力を契約しました。

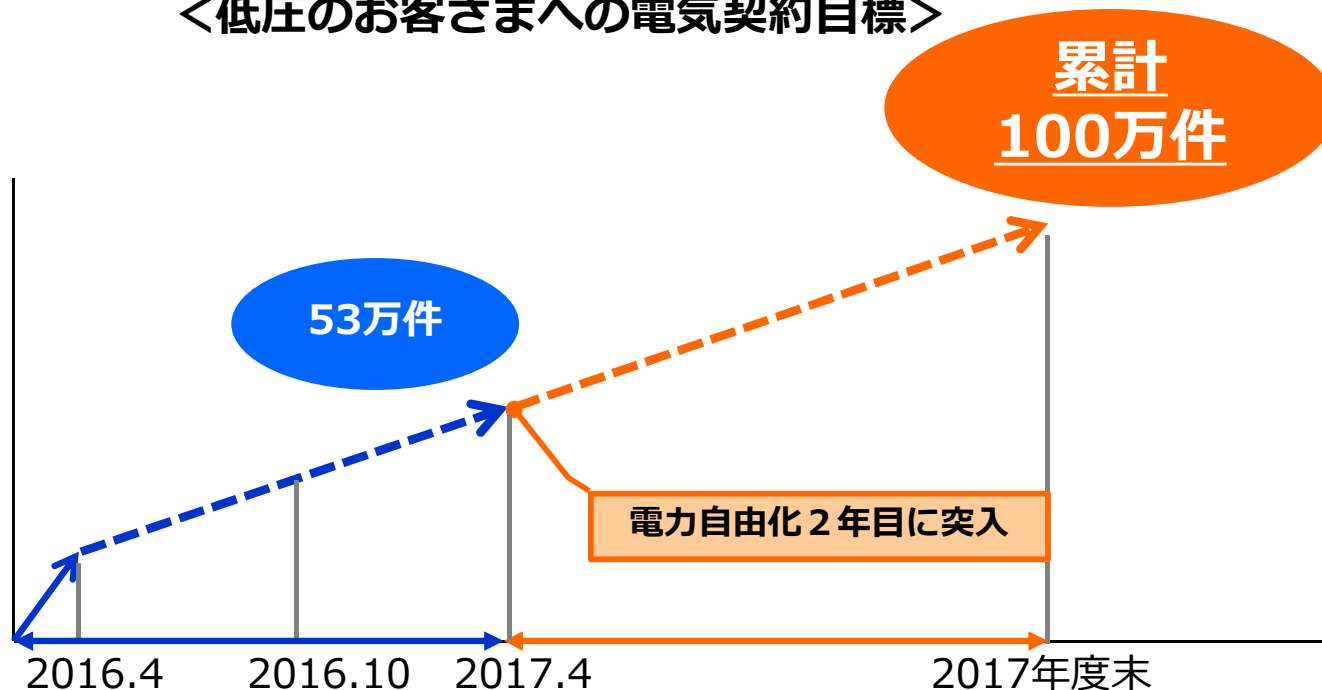


2. 電力事業の拡大

<今後の電力販売拡大に向けて>

- 当社のガスをご利用いただいている低圧のお客さまの大半が、当社の電気に切り替えることにより**メリットが出ます**。引き続き、お得さや手続きの簡単さをお客さま一人ひとりにご説明し、2016年度の目標である**53万件を早期に実現します**。
- さらに、お客さまからのご要望にお応えする**新たなサービスを順次追加しながら、2017年度末には電気契約累計100万件**を目指します。

<低圧のお客さまへの電気契約目標>



2. 電力事業の拡大

<低圧のお客さまへの新たなサービスの展開>

- 東京ガスの電気をご契約いただいたお客さまから、ガス・電気・サービスをまとめた“ずっともプラン”に対して、多数のご意見・ご要望をいただいています。いただいた声を反映したサービスの改善・提供を通して、お客さまに「お得」「安心」「簡単・便利」の3つの価値をお届けしていきます。
- お客さまの生活まわりのお困りごとは東京ガスグループにお任せいただけるよう（「まかせて安心、東京ガス。」）お客さまと向き合い、ご満足いただけるよう努めていきます。

お得

多くのお客さまに、低価格なガス・電気のセット割がご好評です。今後も更にご満足いただけるお得なサービス・特典を追加します！

安心

ガス機器まわりからお客さまの暮らし全般に関わる「安心」をお届けする東京ガスにまかせて安心なサービスを順次展開します！

簡単
便利

「myTOKYOGAS/myTOKYOGASビジネス」の見える、ためる、ためになるコンテンツを更に改善・拡充します！

2. 電力事業の拡大

<電力事業拡大に向けた体制整備>

- 100万件規模のお客さまにご愛顧いただく「電力事業者」として新たなステージに進みます。安価な電力を安定的にお届けする責任を果たすべく、**電源の拡充、組織体制の強化を進めていきます。**

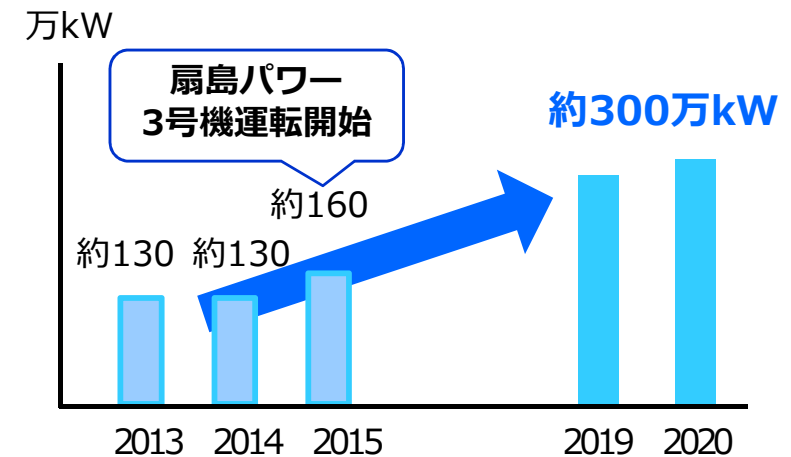
電源の拡充

- 電力販売の拡大に向け、競争力のある天然ガス火力電源やベース電源の拡充を進めています。
- 株式会社コベルコパワー真岡（天然ガス火力発電・約125万kW・当社全量買い取り）において、2016年6月より本格的な発電所建設工事が開始されました。
- 日立LNG基地拡充や茨城幹線建設準備等、天然ガスインフラの整備を進めており、これに加え、天然ガス火力発電所の開発の可能性についても検討していきます。
- 再生可能電源として、福島県沿岸部風力発電構想における風況調査事業を進めています。
- 市場からの電源確保も進め、国が推進する卸電力取引（市場）の活性化に貢献します。

電力事業拡大に向けた組織体制の構築

- 100万件規模のお客さまへ安価な電力を安定的に供給できるよう、**組織体制の強化を検討して**いきます。

<電源拡充の状況>



コベルコパワー真岡

コベルコパワー真岡
の真岡発電所
(完成後イメージ)

<ガス小売全面自由化への対応>

- ガスシステム改革の意義・目的に則り、「ガスの安定供給と普及拡大」「ガス料金の低減とCS（お客さま満足）の向上」「お客さま選択肢の拡大とお客さま保安の向上」を果たすため、2017年4月のガス小売全面自由化に向けて準備を進めています。
 - ガス小売全面自由化開始時にお客さまにご不便のないよう、新たなシステムの導入等、**スムーズな移行に向けた準備を進める**とともに、これまで培ってきたガス事業者としての経験とお客さまとの信頼関係を礎に、**より一層の保安の確保に努め、安心してガスをお使いいただけるよう取り組みを進めていきます。**
- ガス小売全面自由化のスムーズなスタートに向けて、スイッチングシステムの構築等、2015年4月に新設した「ガス自由化対応プロジェクト部」を中心に準備を進めています。
 - コールセンターでも新たな対応フローを検討するなど、お客さまのお申し出にスムーズに対応できるよう、準備を進めています。
 - 導管部門では、当社導管を利用してガス供給を行う小売事業者さまへご提供する託送サービスの業務体制構築を進めています。2016年9月には新たな業務拠点として「託送受付センター」を開所し、業務マニュアル整備や人員確保・教育を行い、全面自由化後のスムーズな業務実施に向けて体制を整えています。

3. ガス事業の深耕

<「安心・安全」への取り組み>

- 130年にわたりガスを供給してきた事業者のパイオニアとして、当社グループのお客さまにも新規参入者のお客さまにも、安心してガスをお使いいただけるよう、**原点に立ち返り**「作業員全員での指差確認」「基本作業の再徹底」を行う等、**保安の確保に努めていきます**。お客さまの暮らしの「安心・安全」に、さらに貢献することを目指していきます。

保安への自主的取り組み

- ガス導管工事においては、当社とエネトラスト（ガス工事会社）が一体となって、施工現場ごとの注意事項の確認等、基本作業の徹底により事故を防止する自主的な取り組みとして「**ずっとも安全運動**」を展開します。



緊急・防災体制の整備

- ガス漏れ等による事故を未然に防止するための緊急出動体制（ガスライト24）として、当社供給エリアの5ブロック49か所の拠点に、約600名のエキスパートを配置しています。ガス漏れ等の通報に対しては、24時間365日の体制で速やかに出動し、迅速な保安処置を行います。ガス小売全面自由化後も、保安レベルの維持向上に邁進していきます。
- ガス小売全面自由化後の大規模災害では、新規参入者と連携した対応が重要となることから、災害時の保安の確保に向け、新規参入者に対し、ガスメーター復旧訓練の機会をご提供するなど、連携を深めていきます。



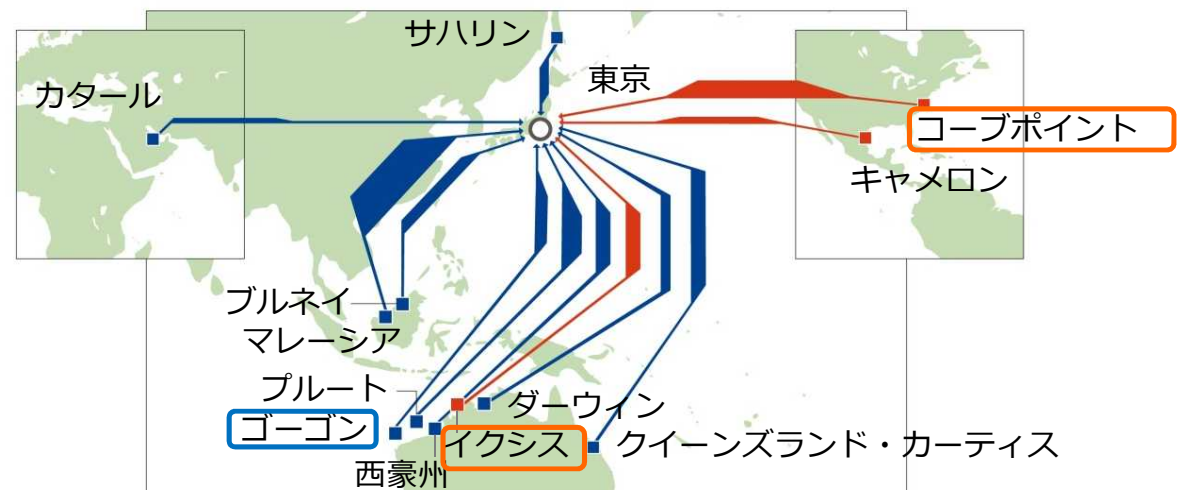
3. ガス事業の深耕

<原料調達が多様化>

- 価格競争力のあるLNGを安定的かつ柔軟に調達するため、**原料調達の多様化を進めていきます。**さらなる多様化に備え、製造インフラの増強を進めていきます。
- 原料調達の多様化として、「調達先の多様化」「契約内容の多様化」「LNGネットワークの多様化」を進めています。
- 当社の調達先は、2016年9月にゴーンプロジェクトからのLNGの受入れを開始し、5か国12プロジェクトになりました。2017年度には、新たに米国のコーブポイントプロジェクト、オーストラリアのイクシスプロジェクトからのLNGの調達を開始する予定です。原油価格以外の価格指標を伴った契約や、仕向地制限の少ない契約を増やし、長期契約に加えて短期契約も組み合わせるなど、柔軟性を向上させるとともに、LNGネットワークを活用したトレーディングにも取り組んでいきます。
- 根岸・袖ヶ浦・扇島・日立の4つのLNG基地においては、約半世紀にわたるLNGの取り扱い経験を活かし、原料調達の多様化に対応しています。さらなる多様化に備え、日立LNG基地および袖ヶ浦LNG基地にLNGタンク増設*を進めていきます。

*日立LNG基地のLNGタンク増設：2020年度完成予定
袖ヶ浦LNG基地のLNGタンク増設：2023年度完成予定

<東京ガスのLNG調達先（長期契約分）>



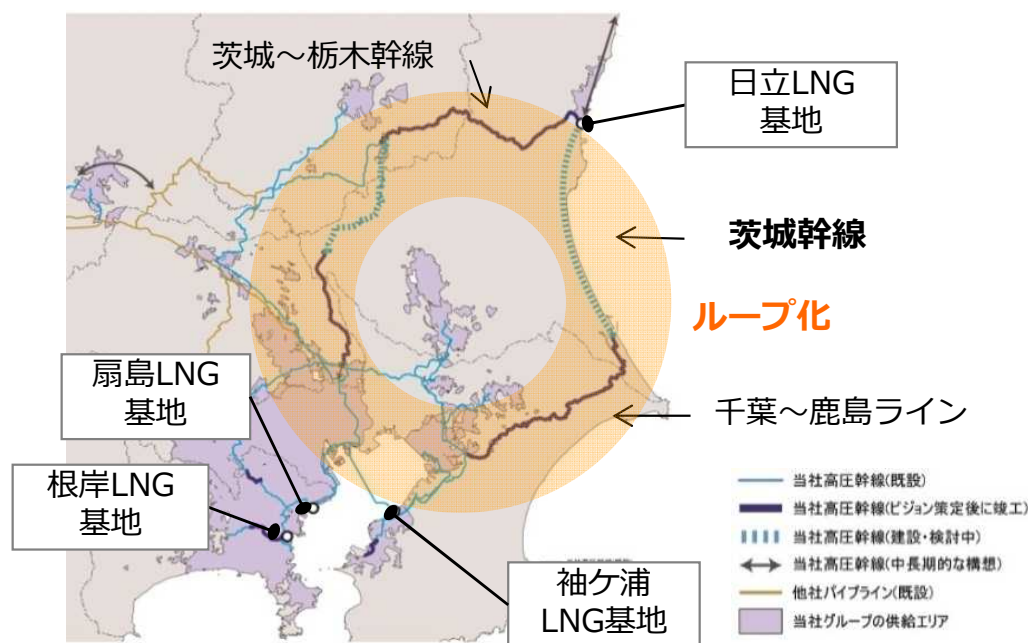
3. ガス事業の深耕

<インフラの拡充>

■ 安心・安全なガスの供給や、天然ガス利用の拡大に向け、**導管網の整備・増強に努めます。**

- 高圧幹線のループ化による供給安定性の向上と、輸送能力の拡大のため、茨城～栃木幹線・日立LNG基地と、千葉～鹿島ラインをつなぐ茨城幹線の建設工事着手に向け準備を進めています。
- 茨城幹線の建設により、今後の関東圏における一層の天然ガス普及拡大に努めていきます。

<天然ガスインフラ整備の取り組み>

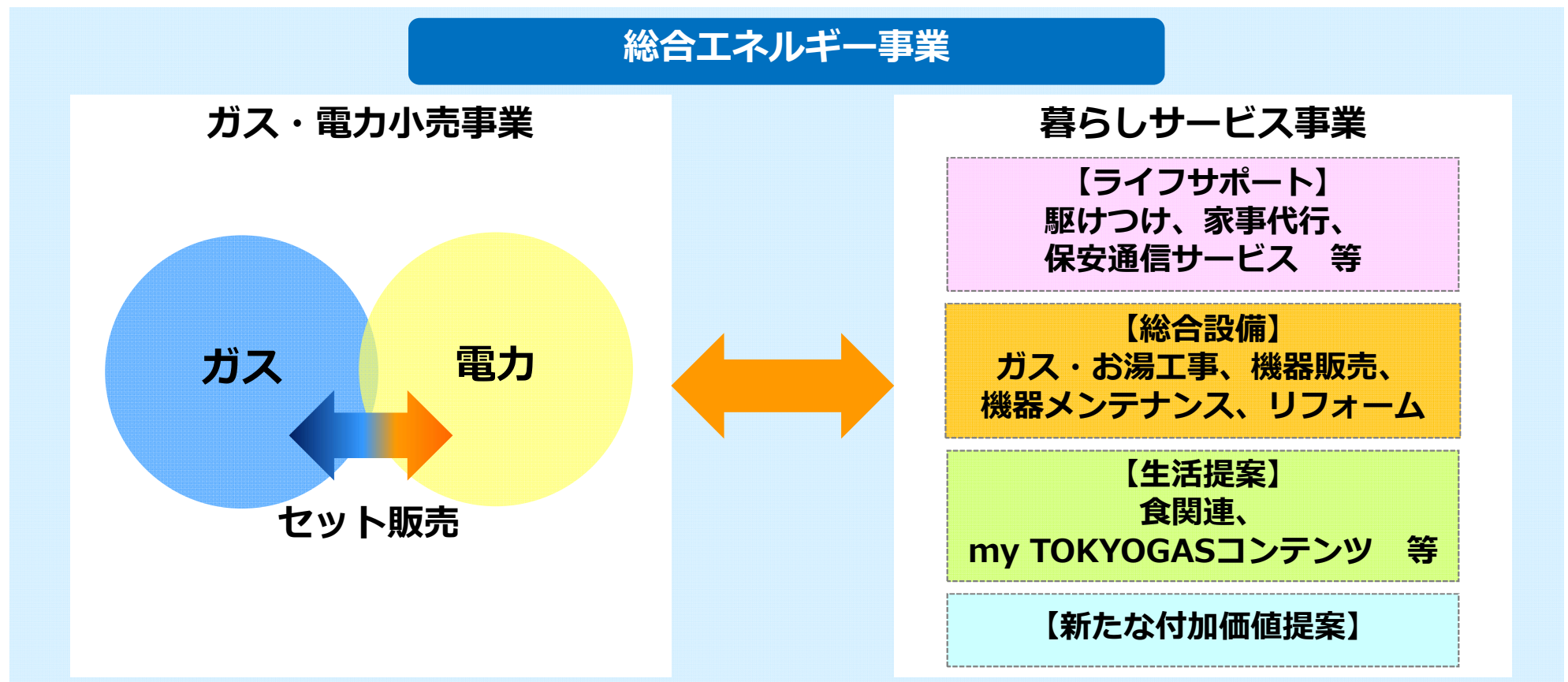


写真：日立LNG基地

3. ガス事業の深耕

<ガス・電気・暮らしの総合エネルギー提案>

- 当社グループは、エネルギー供給をベースにお客さまの暮らしを豊かにする役割を務めてきました。ガス小売全面自由化に向け、ガス・電気・サービスをまとめた“ずっともプラン”（P.8）を通して、お客さまに「お得」「安心」「簡単・便利」の3つの価値をお届けしていきます。
- 家庭用市場におけるエネルギー販売に加え、**お客さまの暮らしを豊かにする新たな価値・サービスの提供**を進めていきます。



3. ガス事業の深耕

<エネルギーソリューション>

- コージェネレーションシステム等の分散型電源を活用した、スマートエネルギーネットワークの構築等により、**省エネ・省CO₂や災害時のエネルギー供給を実現するまちづくりに貢献**します。

工場の省エネルギー化

清原工業団地の面的供給事業

栃木県宇都宮市郊外の清原工業団地内にある複数企業の事業所（3企業7事業所）に対して、30MW級のコージェネレーションシステムを主体とした電力と熱を供給するエネルギーセンターを建設します（2018年度の事業開始を予定）。東京ガスグループが複数企業の起点となり、各事業所の変動負荷を取りまとめ、最適なオペレーションによりエネルギー供給を行っていくもので、内陸型工業団地で最大規模の面的供給事業となります。

公共施設の省エネルギー化

渋谷区新庁舎へのエネルギーサービス

渋谷区新庁舎の建替え計画において、「安全・安心」「環境にやさしい」「機能性」といった新庁舎整備目標の実現（2018年度）に向け、東京ガスグループは渋谷区と、新庁舎のエネルギーシステムの計画・施工・管理まで一括したエネルギーサービスの導入に関わる協議を行っています。



図：渋谷区新庁舎パース
（出典：しぶや区ニュースNo.1301 庁舎建て替え特集号）

新横浜市立市民病院へのエネルギーサービス

横浜市立市民病院再整備事業の一環であるエネルギーサービスプロバイダー事業について、東京ガスエンジニアリングソリューションズが横浜市と基本協定を締結しました。

横浜市が目指す、災害拠点病院として非常時の病院機能を継続させるため、横浜スマートビジネス協議会の一員として、安定的かつ経済性・環境性に優れたエネルギーサービスを実現していきます。



図：新横浜市立市民病院パース

3. ガス事業の深耕

<お客さま満足向上に向けた取り組み>

- 長年のご愛顧への感謝の気持ちをお伝えするとともに、これからもエネルギーや暮らし全般のサービスを通して、**お客さまに安心と快適をお届けする「まかせて安心、東京ガス。」の取り組みを展開して**いきます。
- 東京ガスライフバル・エネスタ・エネフィットは、お客さま宅に訪問し作業を行うことが多いことから、お客さまの貴重なお時間をいただいていることを念頭に、技術力を持った「ガスのプロ」が、これまで以上に丁寧かつ迅速な対応を心掛けていきます。
- これからも、お客さまの暮らし全般を豊かで快適にする、「エネルギー、ガス機器、住設機器、家電製品等」の商品・サービスをお届けできるよう、努めていきます。



まかせて安心、東京ガス。

4. 海外事業の強化

<これまでの取り組み>

- エネルギー需要が拡大し、参入機会が豊富な東南アジア・北米を中心に、現地のエネルギーインフラ構築に資するLNG基地の建設や、海外へ進出する日系企業に省エネルギー等の技術・サービスをご提供するなど、国内で培った経験・ノウハウを活かし、**上流から中下流における天然ガス関連事業の案件へ参画**してきました。

上流事業

- 2016年6月、東京ガスアメリカ社が米国テキサス州南部（イーグルフォード層他）におけるシェールガス開発事業に参画しました。

中下流事業

- 2016年7月、東京ガスアジア社が、ペトロベトナムガス社およびビテクスコ社と、ベトナムにおいてLNGの調達・販売およびLNG受入基地の建設・運営への事業参画を目指して、LNGベトナム社を設立しました。チーバイ基地の建設に向けて、準備を進めています。
- 2016年10月、東京ガスアジア社が、当社初となる東南アジアにおける発電事業として、タイ・バンコク郊外のバンボー発電所（35万kW）の事業運営に参画しました。



写真：バンボー発電所

4. 海外事業の強化

<新たな拠点と体制の拡充>

- さらなる海外事業の展開に向け、**新たな海外拠点の設立や組織体制の強化**に取り組んでいきます。
- ベトナムでの事業化を加速するため、ハノイ事務所に続き、ホーチミン事務所の2017年4月設立に向け準備を進めています。また、エネルギーの需要拡大が見込めるフィリピンで事業を展開するため、マニラ事務所の2017年4月設立に向け、準備を進めています。
これにより、海外拠点は9か国、11拠点となります。
- 海外事業に携わる人員の増員を前倒しで進め、2016年度末に200名規模（現行約160名）へ増員します。また、事業の拡大に向けた組織体制の強化も検討していきます。
- エネルギー企業等の国内プレーヤーと連携し、優良案件の発掘、精査を実施していきます。
- なお、ミャンマー等でも事業展開の可能性を探るべく市場調査を行っていきます。



5. 各種事業の取り組み

<リキッドガス事業の取り組み>

- LPG販売やLNG冷熱を活用した産業ガス製造・販売等を行う「リキッドガス事業」について、2016年4月に東京ガスリキッドホールディングスを設立し、成長戦略の策定・実施を進めています。
- 東京ガスリキッドホールディングスでは、LPG販売事業について、営業力を強化するとともに、アライアンスの推進等により、東京ガスグループの収益の柱の一つになることを目指します。具体的には、物流の合理化や保安レベル・顧客サービスの向上に資する新たな取り組みについて、LPG業界においてさまざまな強みを持つプレイヤーと連携を進め、2020年を目途に、100万件のお客さま規模を目指します。そのうち、30万件は東京ガスグループからの直売を目指します。
- 一方、産業ガス製造・販売事業については、東京ガスとの連携により東京ガスの大口のお客さまに対してワンストップでの提案を行うなど、販売力の向上を図っていきます。

<東京ガスリキッドホールディングス組織図>



5. 各種事業の取り組み

<エンジニアリングサービス事業の取り組み>

- 東京ガスエンジニアリングソリューションズ（TGES）が中心となり、エンジニアリングサービス事業における成長戦略の策定・実施を進めています。
- TGESでは、長年の経験により培った技術力を活かし、国内外でLNG基地の建設や維持管理、エネルギーサービス等の事業を幅広く展開してきました。
- こうした既存事業の深耕・拡大に徹底的に取り組む一方、組織体制をカンパニー制から営業、エンジニアリングといった機能別組織へ再編するとともに、分散していた事業所を統合し、事業基盤を整えました。
- 2016年度中には将来のさらなる飛躍に向けた中期事業戦略を策定し、一層の事業の拡大を図っていきます。

誰もできない、に挑む。



<タイPTTLNGのマプタプットLNG基地拡張工事>



日本企業で初めて、海外でLNG受入基地関連プロジェクトの管理業務を受注。
2014年2月24日～2017年3月末まで。

5. 各種事業の取り組み

<暮らしサービス事業の取り組み>

- 当社グループは、家庭用市場におけるエネルギー販売以外においても、お客さまの暮らしを豊かにする新たな価値・サービスの提供を進めていきます。
- 暮らしサービス事業の詳細はP.14参照。

<地域開発サービス事業（不動産事業）の取り組み>

- 地域開発サービスとして、不動産の活用・管理等を通して、地域密着のエネルギー提案やまちづくりに貢献します。
- JR田町駅東口隣接の東京ガス所有地において、オフィス、商業施設、ホテル等からなる複合ビジネス拠点を創出する「（仮称）TGMM芝浦プロジェクト」の工事は、2015年10月の着工以降、順調に進んでいます。
- 今後も、地域に密着したエネルギー事業者として、開発にあたっては先進的エネルギーシステム（スマートエネルギーネットワーク）を導入する等の取り組みを推進していきます。
- JR田町駅東口地区や豊洲地区等の大規模用地の開発に加え、東京ガスグループが所有する中小規模の不動産を有効活用して、付加価値の高い開発を推進し、事業の拡大を図っていきます。

あなたとずっと、今日よりもっと。

